



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

安心とつながりの拠点へ

横浜市立市民病院

病院案内



私たちは、安全で良質な医療を提供すると共に、
「安心とつながりの拠点」として、市民の健康な生活に貢献します

Basic Policy
基本方針

- ① 患者との信頼関係に基づく最良の医療を、高い倫理観を持って提供します。
- ② 高い技術と豊かな人間性を持ち、地域医療を担う人材を育成します。
- ③ 地域の医療機関や関係機関と連携し、地域医療の質向上に貢献します。
- ④ 救急医療や小児・周産期医療など、求められる政策的医療に率先して取り組みます。
- ⑤ 大規模災害や感染症に対し、市民の健康危機管理の拠点となります。
- ⑥ 良質な医療を提供するため、持続可能で自立した経営を行います。
- ⑦ 職員が自らの成長を実感し、働きがいのある病院を創ります。

| 病院長あいさつ



病院長
長谷川 直樹

横浜市立市民病院は、昭和35年の開院以来、地域の中核病院として高度急性期医療を担い、多くの市民の皆様の様々な病に対応してきました。令和2年、緑豊かな三ツ沢公園の隣に新たな病院を移転し、パークホスピタルと称されています。先進的な設備と充実したスタッフ、療養環境を備え、救急医療、がん診療、小児・周産期医療、感染症医療など幅広い領域で、高度で先進的な医療を提供しています。一方で、医療提供体制を取り巻く環境が大きく変化しており、国は病院ごとの役割を明確にし、地域の医療機関や介護・福祉施設が役割に応じて連携・協力して、患者さんを地域全体で支えることを目指しています。当院は高度急性期医療や高度先進医療に取り組み、市民の皆様のお役に立てるよう役目を果たしてまいります。当院が皆様の「安心とつながりの拠点」となるよう、多職種が連携し、心の通った良質な医療を実践できるよう務めてまいります。

Overview
病院概要

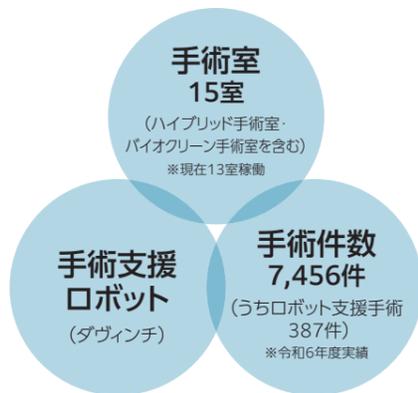
- ▶ 名称 横浜市立市民病院
- ▶ 所在地 横浜市神奈川区三ツ沢西町1番1号
- ▶ 設立 開設年 昭和35年10月 / 移転開院 令和2年5月1日
- ▶ 許可病床数 650床
[内訳] 感染症病床26床 / ICU・CCU18床 / 救命救急病床24床 / NICU・GCU15床 / 緩和ケア病床25床
- ▶ 主な認定施設
主な指定施設
 - ・日本医療機能評価機構認定（機能種別版評価項目3rdG:Ver.3.0）
 - ・地域がん診療連携拠点病院
 - ・がんゲノム医療連携病院
 - ・救急医療指定病院
 - ・救命救急センター
 - ・日本救急医学会救急科専門医指定施設
 - ・地域周産期母子医療センター
 - ・第一種感染症指定医療機関（県内唯一）
 - ・第二種感染症指定医療機関（感染症病床）（市内唯一）
 - ・エイズ治療中核拠点病院
 - ・神奈川県災害医療拠点病院
 - ・神奈川DMAT指定病院
 - ・地域医療支援病院
 - ・紹介受診重点医療機関
 - ・神奈川県難病医療支援病院
 - ・外国人患者受入れ医療機関認証制度（JMIP）
- ▶ 診療科(34科) 腎臓内科、糖尿病リウマチ内科、血液内科、腫瘍内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、小児科、消化器外科、炎症性腸疾患（IBD）科、乳腺外科、整形外科、形成外科、脳神経外科、救急脳神経外科、脳血管内治療科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、神経精神科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、麻酔科、歯科口腔外科、感染症内科、病理診断科、救急診療科、緩和ケア内科
- ▶ 標榜科(32科)



高度急性期医療を担う、先進設備と確かな技術

令和2年の新病院移転を機に、高度医療機器の更新・導入を進めるとともに、着実に治療実績を積み重ねてきました。充実した設備と実績で、高度医療を提供します。

先進の手術環境



ハイブリッド手術室

手術台に血管撮影装置を組み合わせた手術室です。経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)などを実施しています。



手術支援ロボット

ダヴィンチXi サージカルシステムを導入。大腸がん、前立腺がん、子宮がん等の根治切除など、低侵襲な手術を正確かつ安全に行えます。



最新の高度放射線治療装置

放射線治療装置2台体制で、がん治療最前線から緩和治療まで、高い治療効果と低い副作用の両立に取り組んでいます。

強度変調放射線治療 (IMRT)	全領域
定位照射	肺、脳、前立腺、腎臓、肝 など



Halcyon



TrueBeam STx

充実した画像診断装置

充実した機器で、迅速に質の高い検査を提供します。救急医療では、専門医及び各医療職が24時間365日検査実施できる体制を整えています。

また、これらの高度医療機器を用いた各種人間ドックや検診を提供しています。

血管撮影装置	3台、ハイブリッド手術室用1台
CT	320列CT 1台、デュアルエネルギーCT 1台、80列CT (救急専用) 1台
MRI	3.0T 1台、1.5T 2台
核医学検査	PET-CT 1台、SPECT 2台



血管撮影装置 (Alphenix)



MRI (Ingenia Elition 3.0T)



デュアルエネルギーCT (IQon Spectral)

チーム医療

ハード面の拡充と合わせて力を入れているのが、多職種協働によるチーム医療です。さまざまな職種の医療職や各診療科が専門性を生かして連携しながら、患者さんにとって最適な治療を提供しています。病気の早期発見・早期治療から社会復帰にいたるまで、多職種でサポートしています。

総合的ながん対策

がん診療体制

- 地域がん診療連携拠点病院、横浜市乳がん連携病院
- 手術、放射線治療、化学療法を効果的に組み合わせたチーム医療の推進のほか、専門的な診療体制の強化・充実を目的にがんセンター、肺がん治療センター、前立腺・膀胱センターなど各種センターを設置しており、患者さんの病態に応じた適切な医療を提供します。
- がん患者さんの骨転移マネジメントについて組織横断的にサポートする骨転移サポートチームの活動や、安全な化学療法実施のための腫瘍循環器診療フローの運用などを行っています。
- PET-CTの有効活用や、がん検診の専門施設として、がんの早期発見のため一次検診から精密検査まで一貫して行っています。

治療

- 外来化学療法室 (30ブース) : 各ブースにテレビを設置し、ブース間は木製の仕切り壁によりプライバシーの保たれた空間を守りながら閉鎖的にならないよう配慮されています。
- がんゲノム医療: がんゲノム医療連携病院の指定を受け、がんゲノム外来を行っています。



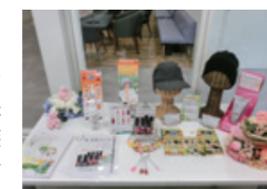
緩和ケア

- 緩和ケア病棟 (25床) : 最上階の7階に位置する緩和ケア病棟。晴れた日には富士山を望めるテラスや、広々としたダイニング、家族控室を備え、患者さんとご家族が穏やかに過ごしていただける環境を整えています。
- 緩和ケアチームが主治医・看護師などと協働で苦痛緩和を行っています。



がん相談

- がん相談支援センターやセカンドオピニオン外来では、患者さんやご家族が安心して治療に向き合えるよう、わかりやすい情報の提供に努め、患者さんの気持ちに寄り添ったサポートを行っています。院内にアピランス (外見) ケアを行う美容室が併設されているほか、がんサロンでは、がん体験者のピアサポーターが悩みのサポートを行っています。



救急 (救命救急センター)

24時間365日、常に一次から三次まですべての救急症例に対応するER型救命救急センターとして、年間8,000台を超える救急車を受け入れ、地域の救急医療の中核を担っています。

- ICU (集中治療室)・CCU (循環器疾患集中治療室) : 18床



- HCU (救命救急病床) : 24床



救急ワークステーションを併設

横浜市消防局の救急救命士研修施設で、市内で初めて設置されました。横浜市ドクターカーを運営しており、年間350件の出動実績 (令和6年度) があります。当院の医師・看護師も救急現場へ出動し、救急隊と共に現場活動を行っています。



Topic 04

感染症

総合病院の強みを活かして集学的医療を実施し、新型コロナウイルスをはじめ、市中感染症や輸入感染症など、ほぼすべての感染症疾患に対応できる体制を整えています。また、MRSA など薬剤耐性菌の対策も積極的に行っています。

第一種感染症指定医療機関

エボラ出血熱など危険度が極めて高い感染症患者を受け入れる医療機関で、当院は県内で唯一の指定医療機関です。

- 感染症病床 26 床 (全室個室、第一種 2 床・第二種 24 床)
- 地下 1 階の感染症外来から隔離状態で移送できる専用エレベーターを設置
- 感染症危機発生時の迅速な診断と治療法開発や、最新の知見を活用した安全で質の高い医療を提供するため、国の感染症臨床研究ネットワーク (iCROWN) に参加しています。



神奈川県エイズ治療中核拠点病院

- HIV・エイズ診療において、多くの症例数と治療実績があります。
- エイズ治療中核拠点病院として、県内拠点病院の HIV 診療をバックアップするとともに、医療水準向上を図るため、研修会や出張講習を積極的に実施しています。

渡航ワクチン外来

主に海外渡航を予定されている方を対象に、黄熱病・A 型肝炎・日本脳炎などの各種予防接種、予防薬の投与を実施しています。

Topic 05

小児周産期

当院は、横浜市産科拠点病院・地域周産期母子医療センターに指定され、分娩件数は年間 1,000 件以上の実績があります。

安全で快適、不安のない出産をサポート

- 産科、小児科、麻酔科の医師がそれぞれ 24 時間勤務。緊急帝王切開となった場合でも、早期に対応することができます。
- NICU (新生児集中治療室)、GCU (新生児治療回復室) があり、早産の赤ちゃんなどに対応しています。
- 陣痛から分娩、回復までを同じ部屋で過ごすことのできる LDR を 5 室備え、ゆったりとした空間で出産を迎えることができます。パートナーの立ち合い出産も可能です。

● NICU : 9 床



● GCU : 6 床



● LDR : 5 室



無痛分娩

麻酔を用いた分娩を希望する方を対象として、麻酔科医が管理する無痛分娩を、平日日中の計画分娩で行っています。令和 6 年度は、143 件の分娩を行いました。

セミオープンシステム

妊婦検診は、自宅や職場近くの通いやすい診療所で受け、緊急時の診療や分娩は、専門体制の整った当院で行います。

ハイリスク妊娠・分娩にも対応

総合病院の強みを活かし、様々な合併症のある妊婦さんにも各診療科と連携して対応しています。

Topic 06

予防医療

高度急性期病院および地域がん診療連携拠点病院としての機能、そして長年にわたり培ってきたがん検診のノウハウを活かし、新たな予防医療に取り組んでいます。



▶ 人間ドック・基本コース

がん・生活習慣病/オプション検査 (男性：前立腺がん、女性：乳がん・子宮がん)

▶ 脳 MR ドック

脳血管疾患 (脳血管動脈硬化や脳動脈瘤など) : 頭部 MRI、頸部血管超音波検査など

▶ 肝胆膵 MRI ドック

肝臓・胆のう・膵臓のがんや疾患 : 早期発見が重要なすい臓がんにも有効

▶ 心臓 CT ドック

狭心症・心筋梗塞 : 冠動脈 CT、心臓超音波検査、頸部血管超音波検査など

▶ 肺 CT ドック

肺がん・閉塞性肺炎 : レントゲンより高精度のヘリカル CT で、放射線被曝を軽減した検査が可能

▶ PET-CT 検査

全身 (体幹部) : 1 回の検査で全身のスクリーニングができ、微小ながんの発見も可能

Topic 07

災害医療

神奈川県災害拠点病院

診療棟は地震に強い免震構造。発災時には、率先して重症・重篤な傷病者を受け入れるなど、地域の医療機関を支え、災害時の医療救護活動の中心的な役割を担います。

最大 7 日間の自立が可能

自家発電設備を備え、燃料・食料・医薬品などを備蓄し、外部からのライフラインが途絶えても最大 7 日間の医療提供が可能な体制を整備しています。

三ツ沢公園を活用したヘリ搬送

災害時には、隣接する三ツ沢公園 (災害時広域支援活動拠点) に設置される臨時ヘリポートを活用し、ドクターヘリなどによる重症患者の広域搬送を行います。



神奈川 DMAT (災害派遣医療チーム) 指定病院

医師、看護師、業務調整員など 5 名で構成される DMAT (Disaster Medical Assistance Team) を有しており、令和 6 年の能登半島地震の際も現地に出動して医療活動を行いました。



受診しやすい外来 Outpatient consultation

毎日多くの患者さんが来院される外来では、安心して受診いただけるよう、わかりやすくスムーズな診療体制を整えています。初診の方も再診の方も、快適にご利用いただけるよう努めています。



ブロック受付

診察室を A~H のブロックに分け、各ブロックごとに受付窓口を設置。診察後の会計案内までを各ブロックで対応します。



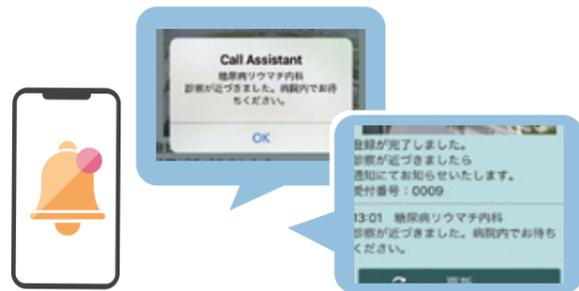
後払いサービス

事前のクレジットカード登録で、診察後すぐにご帰宅可能。後日、登録カードで自動決済されます。



スマホアプリで待ち時間確認

診察の順番が近づくスマートフォンに通知が届く便利なサービス。院内での待ち時間を有効に使えます。



LINE 初診予約

24 時間 365 日いつでも予約可能。二次元コードで市民病院のアカウントを友だち登録するだけで利用できます。



待ち時間を快適に過ごしていただくために、外来で Free Wi-Fi サービスを提供しています。

利用可能エリア 地下 1 階、1 階、外来化学療法室、手術家族控室、ICU/HCU 家族控室

快適でゆとりのある病棟 Hospitalization

プライバシーを大切にしている患者さんのために、十分な数の個室をご用意しています。他の患者さんに気兼ねすることなく、静かな空間でご家族やお見舞いの方とお過ごしいただけます。

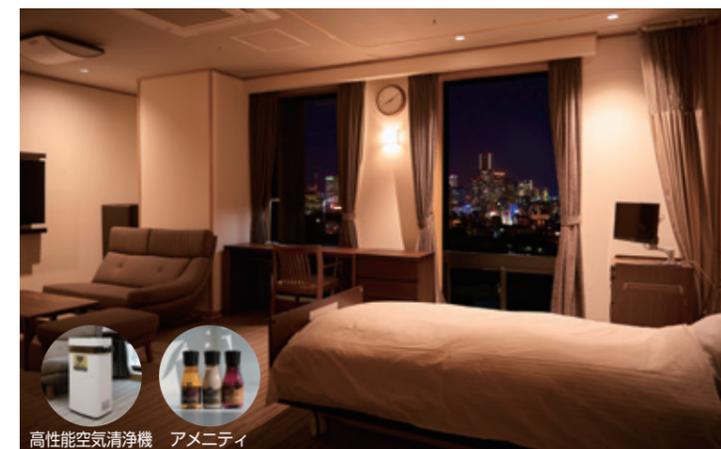
多床室は 1 部屋 4 床とし、余裕のある落ち着いた空間を提供します。

病棟内どこでも利用できる Free Wi-Fi サービスを提供し、患者さんやご家族に快適に過ごしていただけます。

個室

▶ 特別室 (A: 1 室 / B: 3 室)

上質な空間でゆったりとお過ごしいただけます。

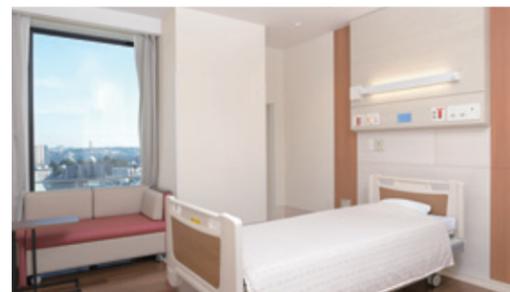


- シャワー
- トイレ
- 応接セット
- デスク
- 大画面テレビ
- ミニキッチン
- 冷凍冷蔵庫
- 電子レンジ
- 電気ケトル



▶ 個室 A (72 室)

- シャワー
- トイレ
- テレビ
- ソファベッド
- 冷蔵庫
- サイドテーブル



▶ 個室 B (102 室)

- トイレ
- 冷蔵庫
- ソファベッド
- テレビ
- サイドテーブル



多床室 (4 床室)

木目調を基調に、個人の空間を広く取りました。各病棟にロッカー・テレビ・冷蔵庫を備えています (テレビ・冷蔵庫は有料)。



ダイニング

各病棟に設置している入院患者さん用の共有スペースです。テレビや電子レンジをご用意しています。



COMMUNITY 地域医療連携

～患者さんの安心と笑顔のために～

限られた医療資源を効率的に活用し、地域全体で持続可能な医療体制を確保するとともに、高度医療・急性期医療を担う病院として地域に貢献するため、院内外の関係者との連携を推進し、病院全体でPFM (Patient Flow Management) に取り組んでいます。

患者総合サポートセンター

PFM 推進の中心的な組織として、多職種職員が相互に連携し、途切れない支援を推進しています。また、病診連携、病病連携、医介連携を積極的に行っており、各診療科が開催する病診連携連絡会、研修会や医療機関の訪問などを通じて、地域との関係づくりを強化しています。



- 主な取組
- 地域医療連携
- 入院前面談
- 入退院支援
- 病床管理

地域医療機関と「手つなぎ」の連携強化・機能分担を進めています。

誤嚥性肺炎や尿路感染症、骨折などの高齢者が発症しやすい疾患について、市内の連携医療機関への早期転院を推奨しています。(初期治療・急性期対応が終了したタイミングで地域の医療機関へ逆紹介します。)



地域医療支援病院

当院は地域の医療機関等を支援する役割を担っています。全診療科で初診時紹介制を採用し、救急医療の充実のほか、地域医療の質向上を目的に、共同利用制度を積極的に推進しています。

登録医制度の概要

紹介患者診療	専用病床確保等共同診療の実施
医療機器利用	PET-CT、単純 CT、造影 CT、MRI、RI、マンモグラフィ、上部消化管内視鏡、心臓スクリーニング、血管スクリーニング、骨密度、歯科 CT 検査の共同利用
研究部門利用	当院図書室の利用
研修会等参加	褥瘡ケアや呼吸器管理など、各種研修会のご案内

▶パークラウンジ (3~7階)



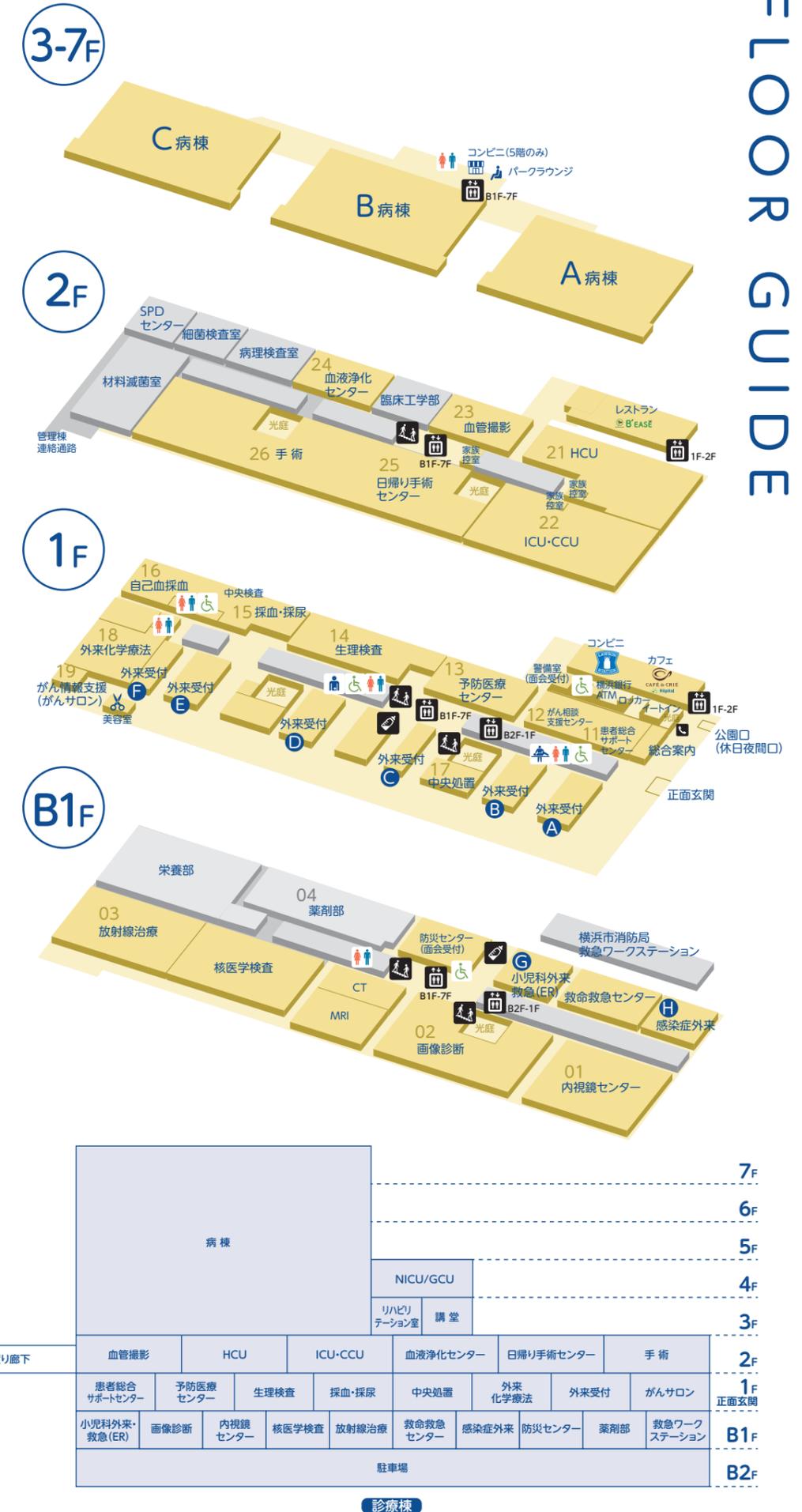
▶コンビニ [ローソン] (1階/5階)



▶カフェ [カフェ・ド・クリエ] (1階)

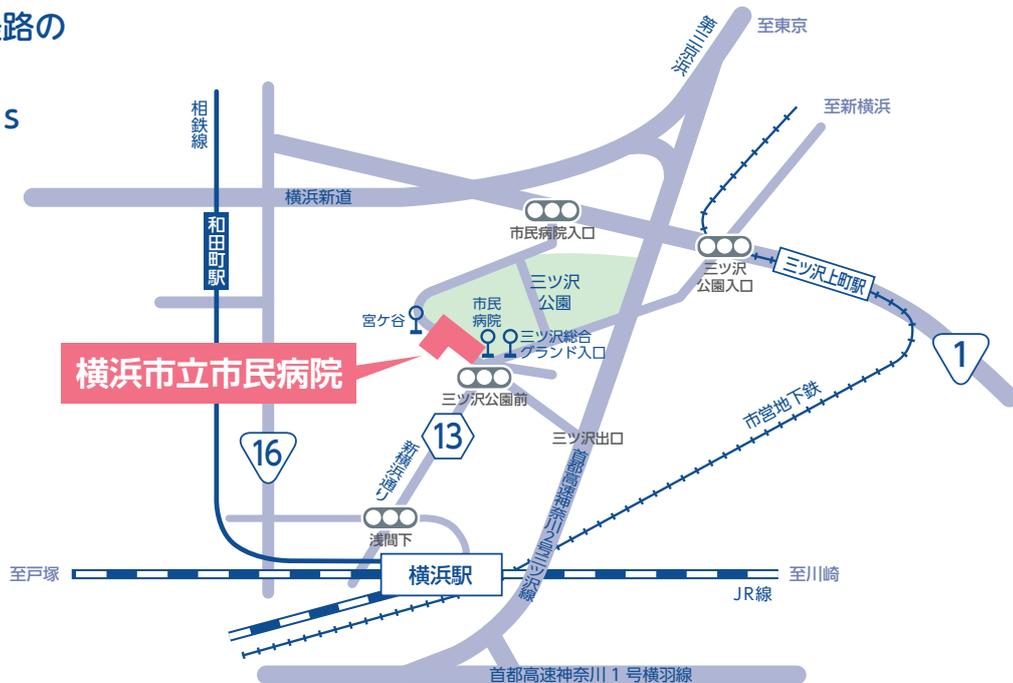


▶レストラン [B'EASE] (2階)



交通と経路のご案内

Access



バスでお越しの方

📍「市民病院」下車すぐ / 📍「三ツ沢総合グランド入口」下車 徒歩1分

横浜駅から

西口バスターミナルから7~9分

- 「市民病院」経由のバス（市営34・87・209系統）に乗車 ※日中8分に1本程度
- 「三ツ沢総合グランド入口」経由のバス（市営・相鉄）に乗車 ※日中約5分間隔で運行

神奈川区内から

東神奈川駅西口から約20分

- 市営88系統に乗車
[主なバス停]神大寺入口～六角橋～東神奈川駅西口～東横反町駅前～三ツ沢上町駅前～市民病院

保土ヶ谷区内や 相鉄沿線から

- 市営208系統（横浜駅西口～和田町～市民病院）に乗車
- 相鉄浜13（上星川駅～三ツ沢総合グランド入口）に乗車



お車でお越しの方

- 新横浜通り 三ツ沢公園前交差点そば
（首都高速神奈川2号三ツ沢線「三ツ沢」出口を下りてすぐ）

※駐車場は大変混み合う場合がありますので、公共交通機関のご利用にご協力いただきますようお願いいたします。



タクシーでお越しの方

- 横浜駅西口タクシーのりばから6~7分

患者さんの予約受付方法

1. 地域医療機関の方が予約する場合

📞 **045-316-6540**

受付時間：平日 8:30~17:00

2. 患者さん・ご家族が予約する場合

📞 **045-316-6541**

受付時間：平日 9:00~17:00

LINE 初診予約

24時間・365日予約受付
2診療日以降の予約が可能



※初診時は、全診療科で紹介状が必要です。

当日受診が必要な緊急・救急の場合 (24時間・365日)

1. 医師専用地域救急ホットライン

📞 **045-316-6555**

2. 救急外来 FAX 専用

📠 **045-316-6565**

対応診療科について

原則として診察科をご指定いただきます。
夜間、土曜日、日曜日、休日は、原則として救急診療科の医師が対応します。



横浜市立市民病院
Yokohama Municipal Citizen's Hospital

〒221-0855 神奈川県横浜市神奈川区三ツ沢西町1番1号
☎045-316-4580 (代表) <https://yokohama-shiminhosp.jp/index.html>

医師紹介・診療科情報・外来情報・診療実績・病院広報誌 and more >

